



## KALS 大学院入試対策講座

専属チューターからのメッセージ

# チュートリアル通信

【2016 年度秋期】税法科目免除 VOL.5

河合塾 KALS の大学院入試対策講座では、チューター制度を導入しています。チューターは当校の合格者 OB/OG を中心に編成。授業での合格指導のみならず、受講生向け学習ガイダンス「サクセスチュートリアル」や個別カウンセリングなどを通じて、受講生からの進路・志望先に関する事、自主学習に関する事など、合格に向けてきめ細かくアドバイスをしています。以下は、税法科目免除・大木チューターからのメッセージです。今後の受験対策のご参考にしてください！



KALS チュートリアル通信 税法

検索

## 研究計画書の基礎②

### ● 研究計画書の構成

前回、判例評釈が研究計画書の参考になることをご紹介しました。では、具体的に、研究計画書の、典型的な構成を見てみましょう。

#### (1) はじめに（＝問題提起）

##### ① 研究動機

なぜ、このテーマを選んだのかを説明。「志望動機（なぜ大学院?）」「志望理由（なぜこの大学院?）」を書く場合は、熱く語る。（特に MBA、経営学研究科等）

##### ② 研究の目的成果（研究のゴールは何か）

この研究を今行うことで自分にとってどのような意義があるのか、また、社会に対してどのような貢献ができるのか。「自分の目指す税理士業務に役立てるため。」「納税者の予測可能性を図る」等々。

#### (2) 研究（判決文、判例評釈などを使ってまとめる）

##### ① 事案の概要（簡潔に）

裁判の流れ（地裁、高裁、最高裁）、論点の整理。

##### ② 考察検討

論点ごとに、意義や過去の判例をまとめる。また、賛成、反対、中立などの学説を整理する。

#### (3) まとめ

以上の研究結果を踏まえ、自分の考え、提案、現在の結論を述べる。（解釈が間違っている、新たに規定を作るあるいは改正をしたほうが良いなど。）

#### (4) 今後の研究計画

入学後どのように研究を加えようと考えているのかについて述べる。（現状で足りないものが何で、それをどのように補うのか?）



うのは、第1段階の終わりに過ぎません、出願まで、この3つの段階のチェックを繰り返し行い、研究計画書を美しい、完成度の高いものにしてください。

## 小論文対策：死刑制度について

先日(11月11日)死刑執行が報道されました。裁判員制度で死刑判決を受けた受刑者としては2例目だそうです。日本の死刑制度存続については、以前から、アムネスティインターナショナルなどの国際人権保護団体からの強い批判があり、日弁連も先日、死刑廃止宣言を提唱したところでした。

ここで、死刑制度の存廃について、まず、法務省が死刑制度廃止と存続の論点を整理した資料をご紹介します。それぞれの論点について、賛成、反対の両論を考えてみてください。

- 法務省ホームページ「死刑の在り方についての勉強会（第2回）の開催について」

[http://www.moj.go.jp/keiji1/keiji02\\_00006.html](http://www.moj.go.jp/keiji1/keiji02_00006.html)

資料4：死刑制度の存廃に関する主な論拠

<http://www.moj.go.jp/content/000053167.pdf>

以下は、廃止賛成派の代表的な意見です。残念ながら、存続派の主張をまとめた良いサイトを見つけることはできませんでした。

- 日本弁護士連合会ホームページ「死刑廃止を考える」

[http://www.nichibenren.or.jp/activity/criminal/deathpenalty/shikei\\_qa.html](http://www.nichibenren.or.jp/activity/criminal/deathpenalty/shikei_qa.html)

ちなみに、弁護士の約半数は死刑制度存続を支持しているというアンケート結果もあります。難しい問題ですね。

- アムネスティ・インターナショナルホームページ「死刑廃止 - なぜ、アムネスティは死刑に反対するのか？」

[http://www.amnesty.or.jp/human-rights/topic/death\\_penalty/](http://www.amnesty.or.jp/human-rights/topic/death_penalty/)

## おわりに

年末まで、もう2か月を切ってきました。次の米大統領が泡沫候補ともいわれたトランプ氏になりました。数か月前には、「BREXIT」といわれた英国のEUからの離脱も話題になりました。国内では、築地市場、オリンピック競技会場の移転問題などで忙しい「小池劇場」も毎日、メディアを騒がせています。今年は、政治の話題で盛りですね。しかし、安心してください。忘年会の出し物のために、PPAPもしっかり年末に間に合いました。

